

研究課題名 (研究番号)	当科で経験したリンパ管腫：最近の治療法のトレンドとその効果 (H30-318)
当院の研究責任者	新開統子
本研究の目的	リンパ管腫はリンパ管の先天性な形成異常と考えられ、体のどこからでも発生する。本邦での治療の腫瘍はOK-432(ピシバミール)の極中療法であるが、最近では漢方治療の効果が報告されている。2018 年の一年間に当科で診療したリンパ管腫の治療とその効果をまとめることで当科での治療の現状を検討し、今後の標準的治療の指標とする。
調査データ 該当期間	2018 年 1 月から 2018 年 12 月までの情報を調査対象とする。
研究の方法 (使用する試料等)	上記期間内にリンパ管腫で当科で診察や治療を受けた方 利用する情報：紙カルテと電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用する。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報には削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話：029-853-3094 担当者：新開統子